

令和6年度 能勢町子ども・子育て会議（第3回）
議事録

日 時：令和6年12月23日(月)10:00～11:40
会 場：保健福祉センター 2階多目的室
出席者：小泉委員・前田委員・安田委員・三浦委員・樺山会長・布村委員・森下委員 ・北山委員・堀内委員・的場委員・村本副会長・八木委員 【計12名】
欠席者：宇佐美委員、齋藤委員 【計2名】
オブザーバー：大阪府箕面子ども家庭センター 北村委員（欠席） 【計1名】
傍聴者：1名
事務局：福祉部 寺内部長、和田課長、菊池課長、瀬川参事、上森係長、永田 【計6名】
教育委員会 百々教育次長、奥課長 【計2名】
委託事業者 株式会社ジャス(1名)

司会：和田課長/議長：樺山会長	
次 第	
1. 開会	
2. あいさつ	
3. 案件	
①第3次能勢町子ども・子育て支援事業計画（素案）について	
②その他	
4. 閉会	

司会	本日はお忙しい中ご出席賜り誠にありがとうございます。 それでは、ただいまより、令和6年度第3回能勢町子ども・子育て会議を開催させていただきます。本日、宇佐美委員、齋藤委員より欠席のご連絡をいただいております。 開会に当たりまして、樺山会長よりご挨拶を頂戴します。
会長	おはようございます。インフルエンザなども流行っている中、皆様お元気に、また年末のお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。 私の娘は高校1年生なのですが、学級閉鎖になりまして、娘も昨日から発熱しており、今朝は夫と私とどちらが病院に連れていくの

	かというバトルを乗り越えてきたところです。 子育てをされているご家庭の皆さんでも、我が家もそうですが、予備力がない家庭は、ちょっとしたことがあると、周りの皆様にご迷惑を掛けてしまう状況です。働いているお母さんお父さんたちは皆さん同じであろうと思います。そういったところを、社会的にも少しずつサポートする、ただ、システムだけではどうにもいなくて、この場のように温かく周りの皆さんが笑ってくださるような、インフォーマルな皆さんの気持ちのゆとりや、受け止めなどの充実も併せて、幸せな子育てにつながるなと思っております。そういった土壌を作るためにも、今日の子ども・子育て支援事業計画を考えていきたいと思います。よろしくお願いいたします。
司会	ありがとうございました。それではこれよりの進行については、設置条例第6条の規定により会長にお願いします。樺山会長お願いします。
会長	それでは、案件①「第3次能勢町子ども・子育て支援事業計画（素案）」について、事務局より説明をお願いします。
事務局	第3次能勢町子ども子育て支援事業計画（素案）について説明をさせていただきます。資料1をご覧ください。 （資料説明） 以上が素案についての説明になります。データを通しての説明になり、分かりにくい点もあるかと思います。この素案の内容を基に本日も審議いただき、いただいた意見を基に、1月中旬から2月中旬頃にかけてパブリックコメントの実施を考えております。
会長	ご説明ありがとうございました。今、事務局より説明いただきましたが、ご意見ご質問などございますか？
委員	56ページの幼児期の教育・保育の一体的提供及び推進体制に関する内容について、下から3行目「児童」と明記がありますが、小学校に上がる前は「幼児」になりますので、訂正をお願いします。
事務局	ありがとうございます。ここの表記につきましては、いただいた意見を踏まえ、もう一度記載を「幼児」「児童」どちらにするかを検討します。
会長	ご意見ありがとうございました。
委員	32ページの民生委員・児童委員による子育てサロンの記載について、「にこにこ」は「毎月第1・第3金曜日」と記載しておりますが、

	現在は第２・第４を基本に実施している点と、年末年始やお盆などのスタッフが忙しくなる頃は減ってきていますので、ここは記載不要かと思います。 子どもの人数によっても実施内容は変更していくと思いますので、子育てサロンも開催しているという記載だけで良いと思います。
事務局	ありがとうございます。修正させていただきます。
会長	ありがとうございます。前回までのご意見のコメントもあったりしますので、いかがでしょうか？
委員	34 ページの子ども・子育て家庭の自由な遊び場づくりの中の既存の地域資源を活用した遊びの場・集いの場の提供の３行目に記載のある「学ぶ」について詳しく教えてください。
事務局	上の文には「学ぶ」の記載はありませんが、憩いの広場に関して、旧小学校の体育館を生涯学習施設にすることを含め、エリア全体を検討している中で、表現として「学ぶ」という表現を使用させていただいております。
会長	ありがとうございます。
委員	47 ページの、のせ保育所の１歳児について、待機児童が出ているみたいですが、働かなくてはいけないお母さんも増えていて、今までよりも保育所に入りたい方が増えているように思います。その辺りをお聞かせください。
事務局	ご質問のありました保育所の子どもさんの状況について、確かに町全体の子どもの数は減少傾向ですが、保育所の子どもの数は近年増加傾向です。 私は５年前から保育所に勤めていますが、例年、年度末になると子どもの数がパンパンになっており、過去一番多かったのが令和２年の 85 名でした。それ以降は、そこまで増えることはなかったのですが、今年の 12 月時点で既に 87 名のお子さんが保育所に通われており、私が知る限り過去で一番多い数になっております。そういう中で１歳児の状況としては既に定員をオーバーしているのですが、保育士の配置基準で、最大限、お預かりできる人数まではお預かりしようと努めていますが、それも限界が来ています。 これ以上お預かりするためには、法定による保育士の定員に基づき、新たな保育士をもう 1 名配置する必要がありますが、検討をした結果、これ以上はお預かりできないという判断に至りました。この状況は１歳児クラスに限らず、０歳児クラスにも今後広がってい

	くと予想されます。 0歳児だと子ども3：保育士1の配置が必要なため、現時点で9名お預かりしていますので、今後申込みがあれば、0歳児にもう1名保育士を配置できるかの検討が必要になってきます。
委員	ありがとうございます。今後、需要は更に増えると思いますので、是非、考えていただけるとありがたいです。
会長	そうですね。預けられるか預けられないかは、働けるか働けないかにつながります。人員の配置も含めて課題かと思います。
事務局	人員確保の部分について、今年度も保育士の採用試験を実施しており、来年4月から新たな保育士を確保する方向で進んでおります。当然、それだけですぐ賄えるわけではなく、会計年度での職員調整や短時間勤務も含め、保育士の確保を進めていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。
委員	最近、多胎児が増えてきており、現在1歳児保育園待機中で多胎児妊娠中という方を知っています。多胎児出産後は復職も控えておられるのに、現時点で預かり先の目途も立たず、多胎児出産も控え、不安を抱えておられますので、多胎児フォローなどもしていただけると助かります。
事務局	前回今回と、多胎児世帯に関する支援についてご意見いただいた中で、事務局としても、働くことに対して多くの負担や障害が、多胎児世帯には付いて来ますので、保育所の利用調整の中で点数を高く算出し、できる限り他の世帯に比べても有利に入っていただく必要性は考えています。そういったところも含めて検討していき、この計画の中に入れていきたいと思っています。
会長	ありがとうございます。多胎児世帯を優先するということも、今回の計画に盛り込まれていたかと思います。既にその状況の方が存在しているわけですが、一つずつですが、支援が必要なところに対応できるようなことになったらいいなと思います。
委員	能勢ささゆり学園の給食についてです。高学年になると量が足りないというお話を保護者の方から聞きます。私の息子は2年生で学年の7割が女の子なので、先生に何うと残食が多いとおっしゃっていましたが、高学年をお持ちの方は、子どもが帰宅後、おやつではなくパンやご飯などお腹が膨れるものを食べたがる感じだそうです。その辺りについてお聞かせください。
事務局	それぞれの学年で栄養素の摂取基準が定められていますので、必要な量は確保していますが、人によっては足りないと思うお子さん

	はおられるかと思います。全体的に足りていないという声は今のところ聞いていないです。
委員	子どもの声を聞くという話があったので、学校でアンケートを取るなどすると、子どもの声が聞けるのかなと思います。給食についてのアンケートを実施するなど検討いただきたいです。
事務局	毎年、学校施設・教育環境を含めて、保護者の方からアンケート調査を実施しています。その中で、給食のことについてはご意見いただいておりますので、内容を確認しながら工夫をしていきたいと思っています。
委員	保護者の方だけではなく、子ども自身もどう思っているかを聞いてもらえるとありがたいです。
会長	子どもへのアンケートも実施されていますか？
委員	毎年決まって実施しているのは保護者あてです。給食に関しては、私が実際に校内を巡回する中で、足りていないという印象はなく、残っていることや、お残しのお子さんを多く目にしており、日による差はあるとは思いますが、もったいないなと思っているのが現状です。 アンケートに関しては保護者に書いてもらうシステムにはなっているのですが、普段からお子さんがどのようなことを考えているのかを聞くのは大事なことだと思いますので、持ち帰って検討したいと思います。
会長	貴重なご意見ありがとうございました。子どもの声を聞くような意識を高めつつ、給食の残量については、難しい点もありますが、お腹一杯に満たされること、残量が出ないようにすることのバランスを考えていくということで、何か具体的に進めていただければと思います。
委員	給食について、私の個人的な意見にはなりますが、オーガニック給食を望んでおられるお母さんも多いのではないかと思います。私の周りが、オーガニックな農家さんが多いという点があるのと、アレルギーが増えている原因として食事が大きな要因を占めるのではないかと思います。 私の子どもに当てはめると、0歳から保育所に入っているので、学校9年生まで通うと15年間も学校に昼食を頼ることになります。子どもたちの心身の健全育成を促進するという中で、今後、オーガニック給食の導入を検討してもらいたいと思っています。 私は移住者ですが、他の市町村と比べても、能勢は、田舎ではあ

	るものの、一時間ほどで都会にも出られる便利さもあり、大阪の中でも良いところ取りだと思っています。最近、オーガニック志向の親御さんを見ることも多く、そういった方が能勢に遊びに来ると、皆口をそろえて良いところという言葉が多く耳にします。全国的にも、また能勢自体も子どもが減っている中、周りの都会にお住まいのお父さんお母さん方に向けた発信として、オーガニック給食や自然に沿った教育を目指すことをアピールすると移住者も増えるのではないかと思います。 保育所を見ていると、能勢は感覚的に一家庭3人くらいがベースになっていて、3人以上のご家庭も多いです。都会にお住まいの友達は多くても2人くらいなので、能勢は子どもを産み育てやすい環境なのかもしれないと思います。なので、移住者への魅力発信の一つとして、オーガニック給食の検討をお願いします。
事務局	ご提案ありがとうございます。岡田町長の所信表明の中で、有機給食の導入を目指していきたいと書かれています。ただ、現状、実現するには検討が必要な課題も多いです。41 ページにありますように、学校給食の無償化は能勢町の魅力化の一つになっていると思います。経済的な環境によらず、皆さんが毎日口にする給食を保護者の方に負担をしてもらわず学校9年間過ごせるというのは、大きな利点になっていると思います。そこから一步進めて、有機給食になっていくのですが、能勢町の農業の実態を今の給食で見ても、地場産を使っている割合はまだ低く、必要な量を必要なメニューのときに供給できる体制にない状態です。仕組みをきちっと作った上でやっていかないと、一回だけできたというような取組では実現したとは言えませんので、しっかりと検討していきたいと思っています。
会長	貴重なご意見ありがとうございます。能勢の魅力を更に発信できるような要望ということで、持続できる形を考えていくようよろしくお願いします。他はいかがでしょうか？
委員	文言について教えてください。16 ページ、「つどいの広場に屋内の施設を整備する」とありますが、保健センターの中のプレイルームを指しているのでしょうか？それとも新たな施設を作ることでしょうか？
事務局	こちらは、調査の際の質問を回答ごとにまとめさせていただいた内容になり、質問としては、屋内のプレイルームを希望されている世帯が回答されているだろうと考えています。

委員	新たに作るというわけではないということで良いですか？
事務局	現時点では予定はないのですが、先ほどの旧庁舎解体後の整備の中で、生涯学習施設の整備という話もありましたので、それも屋内施設の整備になると考えています。
会長	ありがとうございます。
委員	現場にいる私としては、待機児、見えないところの待機児、家庭児に、どんな手を差し伸べていけば良いかと考えたとき、システムはあり、今、事業計画が挙がってきたわけですが、ここで需要と供給のバランスが見えてこない事態のように私自身感じました。保育所の移転配置の地図を目の当たりにして、収容人数、場所の大きさ、内容が変わり、給食施設がついているなどから、形態が見えてきました。 全国的に保育士が不足の中、各都道府県、各市町が一步動きだした中、身近では箕面市では補助員が対応を開始しています。私の認定こども園でも3～4人保育士が不足しており、箕面市からのお子さんもたくさんおいでになっていて、そのため園バスの本数が増え、送迎時間の要望なども多岐にわたり、バスの運転手や保育士に時間外手当を出している状態になっている旨を、箕面市長に直接申し上げた状態です。そんな中で、お腹に赤ちゃんを抱えた親御さんが待機児童に入っている状態を、我々はどうしたら良いのでしょうか？事業計画として実態に合ったものを私たちが作成していかななくてはならないのではないかと感じました。 認定こども園は園庭が広いです。私が言うのもなんですが財力もあります。どうぞご利用いただければどうでしょうか？ただ、量の見込みで当園が利用可能となったときに、0歳児を受け入れる部屋はありますが、先生の組織を保育所タイプに変えなくてはならないですし、0歳児保育を受け入れる能力はありますが、体力がありません。その体力を能勢町は手を打たねばならないと考えます。お互い手を併せて、教育と保育の部分をもう少し深掘して、子どもたちのために何か良い案ができれば実行していきたいと思っておりますので、何か手立てがあれば、おっしゃっていただいたら頑張ろうと思います。ご意見ありがとうございます。 それと、給食の問題ですが、学校教育法では幼稚園児は500キロカロリー、小学校に上がると600キロカロリーと決まっており、なかなか子どもの体位に合わせるのは難しいのですが、低学年・中学年・高学年と段階に合わせ、バランス的なカロリーが設定されてい

	ると思います。 もう一点、子ども食堂ができてよかったという声を耳にしましたが、意図は何でしょうか？生活の中で、子ども食堂を作らなくてはならないほど家庭が貧困しているのか？家庭の保育・教育の時間が取れない時間貧困なのか？私は栄養バランスから考えて食べ物の貧困ではなく、生活における子どもへの教育感が少しずれた結果の子ども食堂ではないかと思います。食べさせる時間・作る時間など女性の働く時間が家庭の中でひっ迫してきているのではないかと考えます。所得の壁問題を政府は取り上げていますが、壁が撤廃されると、お母さん方の働く時間も増え、更に家庭の教育保育時間がひっ迫すると思います。ここも踏まえて全体を見て動かななくてはなりません。 先ほど能勢が良いとおっしゃっていただきましたが、私も元々は能勢の生え抜きではないです。外部からきて 50 年以上住めば、能勢はかわいしい愛しています。こんなに自然がたくさんあるのだから、他市に負けない能勢町を作っていきたいなと思います。
事務局	ありがとうございます。来年4月からこども園で今のところ1号定員を減らし、2号3号の保育の必要な定員を増やされるということなので、それを踏まえ、こちらの子ども・子育て支援事業計画も計画を立てております。今後とも、保育の必要な子に対する態勢づくりは非常に重要になります。のせ保育所だけでなく、当然、認定こども園、幼稚園さんも含めて、オール能勢町として対応していきたいと思いますのでよろしくお願いします。
会長	本当に貴重なご意見いただきましてありがとうございます。実際に声を上げてくださった中で、少しずつ仕組みを変えて良い方向に進むこともできるということもあり、見えてきた課題については対応できるように考えながら進められたらと思います。ご意見いただいてありがとうございました。 時間はだいぶ押してきていますが、実際のお母様方のご意見はとても貴重です。いかがでしょうか？
委員	35 ページの子ども食堂のところですか。いつから実施して下さっているのでしょうか？
事務局	子ども食堂の運営支援の補助を行っての運営は本年度からとなっており、実施している子ども食堂さんについては、平成 30 年頃からやっていただいておりますが、コロナ禍で一旦活動は少なくなり、現在は 50 人程度が参加されています。

	また、町内の社会福祉施設においても、今年の夏休みから試験的に、食事提供をメインとした、今までフリースペースという形でどなたでも集っていただける場を町内で開設していただいておりますが、それを食事提供メインとして活用しました。この冬休みについても、各施設で取り組まれています。また町のホームページなどで日程を掲載しておりますので、ご確認いただいてご利用いただけたらと思います。
事務局	補足としまして、来年以降の話ですが、事業費だけでなく、これから子ども食堂を立ち上げていきたい方に対する立ち上げ資金であったり、またランニングコストや事業運営資金であったり、そういったところの補助も含めて来年以降取り組めればということで、この資料に記載させていただいております。今はそこまではできていません。ただ、予算ありきですので来年からどこまでできるかは別として、計画の中ではこういった方向で進めさせていただきたいと思っています。
委員	夏休みに娘と利用したいなと思いつつながら、皆さんの利用具合がわからず踏み出せなかったのですが、たまたまプレイルームでお友達と遊んでいたときに、誘い合わせてみんなで行って見たらすごく楽しかったです。食べる場所だけではなく、ボールプールを用意してくださっていて、その場でたくさん遊ぶこともできたので、これからも続けていただきたいと思います。ありがとうございます。
事務局	ありがとうございます。また、町内施設にはそのようなお声をいただいたということを伝えさせていただき、来年度以降も継続していきたいと思っています。
会長	私も、子ども食堂さんをやっておられるのをよく拝見するのですが、能勢の子ども食堂の雰囲気はすごく良いなと思っています。たまたま、別の町で気付かずに子ども食堂の日となっているカフェに入ったことがあります。能勢とは雰囲気が違い、食事をいただくだけで終わってしまいましたが、能勢は提供する側もされる側もみんな顔見知り、温かい雰囲気で運営されていて、中にいると気付かれないかもしれませんが、外から見ると、本来の子ども食堂の目的である、地域づくりや人と人とのつながりを作る場所であると感じます。是非、どんどん利用する方の楽しいよという声が広がると良いなと思います。 では、時間が押していますので、次の案件に進みたいと思います。
委員	すみません。少し意見があるようです。

委員	子ども食堂のことですが、大人は一応 300 円で、小学生までの子どもはお金が必要ないです。12 月などは子ども食堂の方が子どもにはプレゼントを差し上げておられるようです。施設の使用料としても費用は掛かるため、本当は大人ももっと来てほしいそうです。なので、私も毎月参加しています。
事務局	子ども食堂開催の時期は、長期の休みなどカレンダーがホームページに載っていますので、またご覧いただけたらと思います。
会長	口コミもとても大きな情報源の一つですので、お互いに情報を見合って上手に発信していき、本当に利用したい人が来れることが一番かと思いますので、どうぞよろしくお願いします。 では、今日いただきましたご意見を基に、事務局の方で改めて精査していただきまして、必要に応じて修正の上、この素案をもって、年明けにパブリックコメントを実施するという事で、皆様ご了承いただけますでしょうか？
各委員	(了承)
会長	それでは、そのように進めさせていただきます。ありがとうございます。 それでは次に、案件 2「その他」について、事務局より何かございますでしょうか？
事務局	その他の案件として、本日、当日配布としてお席の方に置かせていただいております、資料 2「保育所移転配置検討案」をご覧くださいいただけますでしょうか。 (資料説明) 説明につきましては以上です。
会長	ありがとうございました。今、事務局よりご説明がございましたが、ご意見やご質問ございますか？それでは、ご意見なければ閉会としたいと思いますので、副会長よりご挨拶いただきます。
副会長	失礼いたします。今日は本当にいろんな意見を聞かせていただいて、前へ前へと進めることができましたと思っています。最後、パブリックコメントしていただいて、良いものができていたら良いと思っています。ありがとうございました。 先ほどから言われている子ども食堂に、私も先日土曜日に行かせていただき、本当に和気あいあいとした中の子ども食堂で、都会で見る子ども食堂とまた違う面があると思います。親子で来られてい

	て、子どもさんはハイハイや座ったままの小さな方もみんな含めて、みんなが家族のように、ここで食べ、ここで遊び、また子ども食堂の担当者が遊ぶことを考えてくださったり、この前もクリスマスパーティーだったのでクリスマスのイベントがあったりと、和やかでみんなで子どもを育てているという雰囲気があり、これが町内全部に広がったら良いなと思いながら見させていただきました。 また私も機会があれば、子ども食堂に行きたいと思いますし、それぞれの施設の子ども食堂ものぞきたいと思っています。いろんなところで、いろんな人が関わっているのがうれしく、これが能勢町の良いところだと思っています。これからもよろしくお願いします。ありがとうございました。
会長	ありがとうございました。それでは第3回子ども・子育て会議を終了させていただきます。本日はありがとうございました。 (閉会)